

田和山の森から

☆ 2月の作業



落葉集め

2月は天候が悪く、2日しか作業ができませんでした。Aゾーン上部を中心に落ち葉を集めて堆肥用にしました。これまで集めた落ち葉は、米糠と混ぜ、いい具合に腐食し、上等な堆肥が出来上がっています。ご希望の方は自由に持ち帰ってください。

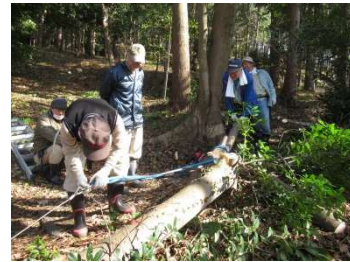
広葉樹の落ち葉は森のいたる所にあり、今後も落ち葉集めの作業が必要です。

伐採した木は道の両側に応急処理してあります。軽くなってから片付ける予定です。

○落葉集め

○樹木の間伐

先日、2月24日の作業では、休憩所から少し上がった所のキンラン群生地にあったノグルミ1本を伐採しました。また、3月3日には、森の入り口から20m程入った所の左側（図参照）の樹木6本を伐採しました。この付近の木は常緑樹が殆どで、大きく成長し薄暗くなっており、クロキやツバキ等を間採したものです。このため日が当たるようになり明るくなりました。



間伐作業



森の概略図

☆お知らせ

○田和山の広場オープン！

田和山遺跡ゾーンは工事のため立ち入り禁止となっていましたが、予定の工事が終わり、広場部分は3月7日から使えるようになりました。遺跡全体への立ち入りは4月1日からですが、森の作業の次回10日には広場への駐車ができますのでご利用下さい。（先日の三者連絡会で文化財課からお知らせがありました。）

○25周年事業

令和24年度に予定していた本会発足25周年記念事業は、コロナ禍のため実施できませんでしたので、今年の秋に延期することになりました。イベント等いいアイデアをお寄せください。

○「キンランを楽しむ会」のイベント

今年の「キンランを楽しむ会」は5月7日の日曜日に行います。連休明けの日曜日になります。丁度満開になると思います。お知り合い等に宣伝してください。具体的なことは次号でお知らせします。このイベントについては、市の4月号広報でお知らせがあります。

○田和山遺跡見学

3月29日(水)田和山遺跡見学のため広島県よりバス4台で来訪予定です。

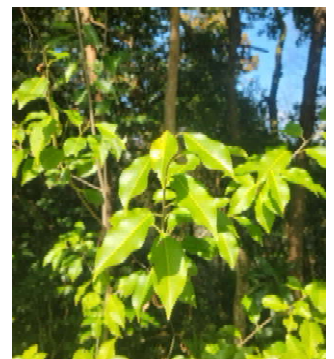
田和山の樹木 第38回 ソヨゴ

ソヨゴは、宮城県～新潟県までの本州、四国、九州原産とするモチノキ科の常緑樹です。林内や林縁でみることができますが、山の尾根など乾燥した場所に多く生育しています。

山陰地方では、アカマツ林の下層を形成する主要な樹種でした。ソヨゴは美しい緑色の葉で、葉の周囲に鋸歯はなく少し波打っています。ソヨゴの葉は風に揺れると周囲の葉とこすれ、かさかさとして独特の音を立てます（この音で樹木の判別ができます）。風に揺れて音を立てる（＝そよぐ）ことから、ソヨゴと命名されたといわれています。春から芽吹いた新梢の葉のつけ根から白い花が咲き、秋に赤く熟しますが、雌雄異株なので実がつくのは雌株だけです。鳥が好物にしないため、ソヨゴの実が遅くまで木についています。

葉は内部に水分を保持する力が強く、火で葉を炙るとその部分が膨らむ。このため別名をフクラシバ（膨ら柴）ともいわれています。淡いクリーム色をしたソヨゴの材は緻密で加工しやすく、ソロバンの珠や工具の柄、床柱などに使われています。

【写真】葉の周囲が波打っている



ソヨゴの葉

（竹下記）

今月の作業日

3月3日（金）13：30～、10日（金）13：30～、18日（土）9：00～、24日（金）13：30～、31日（金）13：30～
4月7日（金）13：30～、15日（土）9：00～、21日（金）13：30～、28日（金）13：30～